

水明会

No.149
だより

水明園・みよしの

編集／社会福祉法人水明会[令和5年4月15日発行]
〒728-0017 広島県三次市南畠敷町441 TEL(0824)62-2841



水明会ホームページはこちら

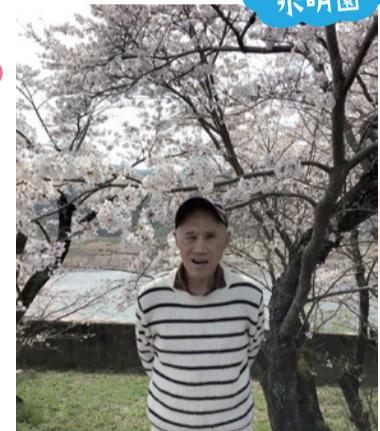


春のフォトアルバムできました!!

コロナ禍で中止していた花見ドライブも、数年ぶりに行くことができました。素敵な笑顔をたくさん見ることができ嬉しかったです。帰園後も楽しそうに話をされて、いい気分転換になりました。



特養
水明園



「ひな祭り行事」

“なりきりひな祭り”として職員、入所者様共に仮装して写真撮影をしました!!

皆様、役になりきって良いお顔で記念撮影が出来ました。



特養
みよしの



3.3 ひなまつり





「ペルルシアター」

干支のパネルを物語の朗読に合わせ劇をしました。

利用者の方も手を叩いたり、笑ったりされ楽しく過ごされました。

「花のくす玉づくり」



グルーガンとは、スティック状の樹脂（ホットメルト接着剤）を熱で溶かして接着させる道具。その名の通り「接着剤の銃」として、本体の引き金を引くことで溶かした樹脂を押し出すことができます。



初めての グルーガン！

初めて使用するグルーガンで皆さん四苦八苦でしたが、「早く作りたい！」、「やりたい！」と意欲が強く楽しい時間を過ごすことができました。

輝け! 羽ばたけ! 新しい仲間!

4月から新しい職員が加わりました。
笑顔が素敵で明るく元気な職員です。
皆さんよろしくお願ひします。

この春から水明園に入職しました垣内智覚と申します。

大学では、社会福祉について勉強をしていました。介護については全くの初心者です。はやく仕事を覚えられるように頑張ります。

私は中学から大学まで吹奏楽をしていて、クラリネットという楽器を吹いていました。いつかみなさんに演奏をお披露目できる日がくると嬉しいです！

また大学では、華道サークルにも所属していました。私が生けた花を施設内に飾り、入所者の皆様に喜んで頂きたいと思います。

まだまだわからないことばかりですが、先輩から教えていただくことの一つ一つを大切にして、頑張っていきます。よろしくお願ひします!!



新卒社員垣内さんと
ヤマムー

20年! 30年! 永年勤続表彰

職員3名が永年勤続表彰を受賞されました。
20年表彰は施設長、30年表彰は事務長と主任看護職員です。

多年に渡り水明会に貢献され入所者様の生活を支えていただいた3名に心からの感謝を申し上げます。

写真撮影では、受賞者の皆さんのお照れ笑い謙虚な姿勢が印象に残りましたが、内に秘めた強さを感じました。



大局観

[第3回] 頼られる存在であるために

介護施設へ勤め始めて私生活で役立つことや、自分自身が変わったことはないかと若い職員へ尋ねたら、いろいろな返事が返ってきました。ご高齢の方が電車に乗つておられる時は、誰よりも早く譲れるようになりました。

街中や屋内で車いすの方を見かけたら、つい気になってしまします。

挨拶を良くするようになります。

自分の祖母と職場で習つた手芸とかと一緒にやっています。

祖母の介護を母親と一緒にできるようになりました。

祖母への介護技術や介護物品を母親に教えています。

立つことや、自分自身が変わったことはないかと若い職員へ尋ねたら、いろいろな返事が返ってきました。ご高齢の方が電車に乗つておられる時は、誰よりも早く譲れるようになりました。

街中や屋内で車いすの方を見かけたら、つい気になってしまいます。

挨拶を良くするようになります。

自分の祖母と職場で習つた手芸とかと一緒にやっています。

祖母の介護を母親と一緒にできるようになりました。

祖母への介護技術や介護物品を母親に教えています。

立つことや、自分自身が変わったことはないかと若い職員へ尋ねたら、いろいろな返事が返ってきました。ご高齢の方が電車に乗つておられる時は、誰よりも早く譲れるようになりました。

街中や屋内で車いすの方を見かけたら、つい気になってしまいます。

挨拶を良くするようになります。

自分の祖母と職場で習つた手芸とかと一緒にやっています。

祖母の介護を母親と一緒にできるようになりました。

祖母への介護技術や介護物品を母親に教えています。

立つことや、自分自身が変わったことはないかと若い職員へ尋ねたら、いろいろな返事が返ってきました。ご高齢の方が電車に乗つておられる時は、誰よりも早く譲れるようになりました。

街中や屋内で車いすの方を見かけたら、つい気になってしまいます。

挨拶を良くするようになります。

自分の祖母と職場で習つた手芸とかと一緒にやっています。

祖母の介護を母親と一緒にできるようになりました。

祖母への介護技術や介護物品を母親に教えています。

家族
だより

「義母の入所」

丹波 栄子

義母は三人兄妹の末っ子として生まれ、兄達と野・山を走り回る元気な女の子だったそうです。義父と結婚して家業を手伝い、二七トラックを運転しフォークリフトも使いこなし、とてもパワフルな女性でした。

義父が亡くなり数年経つ頃から少しづつ体力気力が無くなりサービスを利用する様になりました。

元気に利用させて頂いてましたが、コロナでなかなか面会が出来ませんが、職員さんが近況報告をしてくださいるので安心しています。

これからも引き続きよろしくお願い致します。

立つことや、自分自身が変わったことはないかと若い職員へ尋ねたら、いろいろな返事が返ってきました。ご高齢の方が電車に乗つておられる時は、誰よりも早く譲れるようになりました。

街中や屋内で車いすの方を見かけたら、つい気になってしまいます。

挨拶を良くするようになります。

自分の祖母と職場で習つた手芸とかと一緒にやっています。

祖母の介護を母親と一緒にできるようになりました。

祖母への介護技術や介護物品を母親に教えています。



水明園居宅介護支援事業所
0824-62-8585



編集後記

新年度となりました。桜も満開となりこれら様々な花が見頃となり目に楽しい季節ですが、一方で私の対敵である花粉もピークの時期でございます。嬉しくもあり苦しい時でもあります。花粉症の特効薬出ないかな。日中暑い日もありますが、同時に朝晩と冷えますのでお体にお気をつけてお過ごし下さい。(安川大喜)

